

令和元年度 第2回 岡山市本庁舎整備検討会 議事要旨

日時 令和元年12月2日(月) 13:30~14:40

場所 岡山市勤労者福祉センター 5階 中会議室

## 1 開会

## 2 議題

(1) 本庁舎等整備基本計画について

- ・敷地設定と周辺施設について
- ・新庁舎の構成と想定規模
- ・事業スケジュール・概算工事費

(2) その他

## 3 閉会

### 1 開会 総務局長あいさつ

森安総務局長：

庁舎整備に関しては検討がかなり進み、来年度は本格的に新庁舎の設計が始まる。先日発表を行ったが、岡山市としても、体制を整え、庁舎整備を進めるための専門の組織を作ることを考えている。

令和2年度からの本格的な検討に向けて、皆様からの意見を頂き、より良い、市民に開かれた、使いやすい庁舎を目指していきたい。

### ●資料確認

司会：

本日は、岡山大学大学院の中村様、NPO法人まちづくり推進機構のムラカミ様のご都合により欠席。

### 2 議題 (1) 本庁舎等整備基本計画について

事務局：

<資料1、2、3に基づき説明>

——資料1 敷地設定と周辺施設について——

会員：

歩行者の動線について、ロータリーから庁舎に向うように矢印が示されているが、他にもいろんなところを通ることができるのか。例えば東から西に抜けられるのか。

事務局：

新鹿田町駐車場と新庁舎の間にはロータリーがあるが、歩道や自転車通行帯などを設けられないかと考えている。

座長：

前回の図では西側のメインアプローチ道路に専用の左折路の計画があったが、今回の図の道路幅におさまるのか。

事務局：

今回の図は現庁舎の敷地側に道の拡幅をした状態のものとなっている。歩道や自転車なども考慮した計画となっている。

座長：

南側の住環境への影響低減についての配慮はあるか。

事務局：

南側の道路についても歩道などを考慮して拡幅していきたい。

委員：

民間利便施設とは、具体的にはどのようなものを想定しているのか。

事務局：

広場に面したカフェ、飲食店や、スーパーなどの地域に足りない施設を想定している。昨年度の基本構想において、民間事業者に対して、事業として成り立つかどうかの調査をしているが、1,000㎡～3,000㎡程度は作れるのではないかとの回答を得ている。市としては、広場に面したカフェなど、賑わいを創出できる施設を作れるとよいと考えている。

委員：

現在は鹿田町駐車場と隣地の民間駐車場があり、鹿田町駐車場が満車の場合でも隣地の民間駐車場が利用できる。岡山市内は自家用車による交通がメインとなっている。新たな駐車場は 280 台と設定されているが、計画される地下駐車場だけでは足りないのではないか。

事務局：

駐車場については来年度以降、周辺施設計画として詳細に検討していく。現状、鹿田町駐車場の駐車台数は 300 台だが、満車になることは年に数回程度で、頻度は少ない。他に公用車駐車場として 120 台分を設ける。両者の駐車場を一体的に活用し、効率的に使えるようにしたい。

今、国を挙げてマイナンバーカードの普及に取り組んでいる状況だが、マイナンバーカードの普及により住民票などのコンビニ交付が促進される。その辺の状況も見ながら、来庁者数の予測を行っていききたい。

委員：

駐車場ができる 5 年間は駐車場をどうするつもりか。隣地の平面駐車場（貯金事務センター跡地）は現在でもほぼ埋まっている。鹿田町駐車場分を代替できないのではないか。

事務局：

隣地の平面駐車場は、新庁舎整備のために土地を取得し、一時的に民間駐車場として貸し出しているもので、定期利用や朝から夕方までの長時間利用が多く、手続き等で来庁する市民の利用は少ない。民間の駐車場としては廃止し、鹿田町駐車場の代替として利用する。鹿田町駐車場の満車状況が少ないこと考えると、来庁者用の駐車場として代替できると考えている。

委員：

費用対効果の観点などからハードとしての駐車場を整備することが難しいのであれば、繁忙期などの分散利用を促すなど、ソフト面で対策を行うことがよいのではないかと。

事務局：

鹿田町駐車場の代替地は他にはないので、ここを仮設駐車場とする方針はご理解いただきたい。どの程度、駐車できるかやどんな工夫ができるかは今後、検討していきたい。

委員：

駐車場は民間利便施設の駐車場も兼ねるのか。

事務局：

利便施設は官民連携手法として民間事業者側での建設ができないかと考えている。  
利便施設の面積や駐車場台数など、官民連携の中でトータルに考えていきたい。

委員：

現在の大供公園では、地域の方がグランドゴルフなどの利用をしているが、庁舎の前の公園ではおそらく同じようにはできなくなる。公園が表立った場所にあると、周囲からの目があるため、いろいろなイベントができなくなる。

委員：

町内のまつりをどこでやるのかという声がある。具体的な絵が見えてこないので、議論しにくい。早めにモデルプランを示していただきたい。

事務局：

公園・広場については来年度以降の検討となる。来年度的设计は庁舎そのものになるが、市役所筋からの見え方など公園・広場は大きく関わってくるので、ある程度の提案はいただけるとは思う。どのような使い方が出来るかは、地元の町内会の方々の意見も聞きながら検討していく。

委員：

街にある公園は、その地域の活動を知らせる良い場となる。総社市の公園では、もっと目立ったほうが良いというポジティブな理由で、遊具をあえて道路側に面して設けた例もある。植栽の配置などで、見せるものと隠すものの使い分けもできると思う。

委員：

市民が使いやすい公園・庁舎として欲しい。浸水対策も検討してほしい。災害時には駆け込み寺となるように。

委員：

公園・広場が多目的に利用できるのはよいが、災害時の避難場所としての役割もある。大型車両や緊急車両がフレキシブルに入って来られるように公道とのアプローチも含めて検討してほしい。

事務局：

庁舎や公園は避難施設とはなっていないが、一時避難などに使えるように考えている。特に低層部などについて、市民のために何ができるかを考えていく。

——資料2 新庁舎の構成と想定規模——

委員：

岡山市らしさをどのように考えているか。例えば、交流・協働機能が 300 m<sup>2</sup>とあるが、控えめな数字となっている。もっと全面に押し出してもいいのではないか。岡山市らしさをはっきり打ち出したほうがいい。

事務局：

面積表だけを見ると少ないように見えるが、イメージ図ではエントランスホール、市民ホール、待合ホールなど、災害時も含めて多目的に広く使いたいという市の考えを示している。そのあたりのことは基本設計の中で詰めていく。

座長：

屋根付き広場はどのようなものを考えているのか。

事務局：

機能別整備方針の中で触れたが、パブリックビューイングや BMX など様々なイベントが雨天でも行えるようにと考えている。本庁舎解体後になるので、周辺施設整備の中で検討していく。

座長：

断面イメージ図では広場と公園の勾配がきつくなっている。今後の検討の際には、よく考えたほうがいい。

事務局：

歩行者や車いすの方などの動線に配慮しながら計画するとともに、勾配を利用して、イベント時の客席にするなどいろんな活用策が考えられる。

委員：

バスの停留所はどのように考えているのか。

事務局：

イメージ図はロータリー内にもバスが入れる回転半径で描いている。将来の路面電車の計画なども含め、今後バス事業者など公共交通機関との協議をしていく。

座長：

議会関係の面積はいつ頃決まるのか。この枠の中で収まるのか。

事務局：

現在、議会の特別委員会などで議論していただいているが、今月中には概ねまとめていただけるのではないかと考えている。新庁舎の総面積 58,500 m<sup>2</sup>は守りたいと考えているので、議会が大きくなると他の面積が犠牲になる。そのあたりは考慮いただいていると考えている。

委員：

現在の保健福祉会館についてはどう考えているのか。南北の駐車場は残るのか。

事務局：

新庁舎と保健福祉会館との間に屋根を設け、繋ぐことを考えている。南側の駐車場は残す予定だが、北側の駐車場はロータリーと干渉するため廃止を予定している。

委員：

庁舎 1 階の利便施設には食堂も入るのか。

事務局：

食堂は景色の良い場所に設けるなど、設計者の提案を受けながら、今後、検討していく。

### ——資料 3 事業スケジュール・概算工事費——

座長：

建設費の動向について、2年後や3年後などをどのように考えているのか。

事務局：

今後の建設物価の動向については、景気の動向次第なので、その年その年で精査していくしかないと考えている。物価スライドなど、物価上昇時の変更契約の制度が作られている。急激な物価上昇が起こった場合、こういった制度の利用も考えられる。

## 2 議題（2）その他

意見なし

## 3 閉会

<終了>